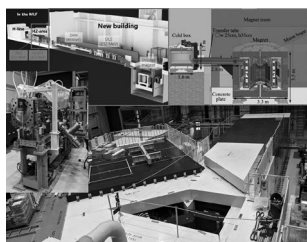


# 「加速器」

Vol.20, No.1  
(2023. 4. 30 発行)

・ 巻頭言	
加速器科学における機械工学研究の挑戦	上野 健治 1
・ 解説	
J-PARC での新たな手法によるミュオン $g-2$ /EDM 測定	山崎 高幸 2
バルク超伝導体の基礎とアンジュレータへの応用	紀井 俊輝 10
正確なアライメントの実現と維持のために：測量から、 アライメントを崩す要因探索の変動・振動測定まで	松井 佐久夫 20
・ 話題	
SPring-8/SACLA におけるアンジュレータの放射線損傷と対策	清家 隆光, 貴田 祐一郎, 鏡畑 暁裕, 田中 隆次 35
電子蓄積リングのビーム廃棄プロセスにおける電子ビームの回折的 振る舞いの定式化とビームハンドリングへの応用	平岩 聡彦 43
・ 談話室	
育児休業のすすめ：ニューヨークで専業主夫になった物理学者	久保 毅幸 50
・ 会議報告	
第19回日本加速器学会年会報告	池田 伸夫, 若狭 智嗣, 諏訪田 剛, 原田 寛之 57
・ 学会賞報告	
第18回日本加速器学会賞報告	紀井 俊輝 63
・ 掲示板 (関連会議情報)・会告・編集後記	67
・ 定款	72
・ 倫理綱領	75
・ 安全保障研究に対する日本加速器学会の対応	76
・ 投稿の手引き	77
・ 賛助会員名簿	79



## 表紙写真の説明

J-PARC MLF ミュオン科学実験施設の H ラインを延長し、ミュオン  $g-2$ /EDM 測定実験装置が開発されている。

左の挿入写真は RFQ、上部は装置の全体像とミュオン蓄積磁石の概念図である。詳しくは本文を参照。

山崎高幸  
(KEK 物構研)